Pre「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校　Vol.1　令和4年5月23日

４月２８日（木）に、１年生を対象とした「第１回　医療専攻講演会」を実施しました。本校「医療専攻」アドバイザーである小出病院院長　布施　克也　様を講師にお迎えし、**「医療を仕事にする」**という演題で御講演いただきました。

布施先生のご講演より

小出高校の医療専攻コースの活動について、昨年のプログラムの様子を、写真を交えながらご説明いただきました。

まず、**医療や福祉の専門職**について、具体的な事例をあげながら、わかりやすくお話いただきました。医療と言っても医師や看護師だけでなく、放射線技師や言語聴覚士など、今まであまり耳にしたことのない医療の専門職があることを学ぶことができました。小出病院に実際に勤務されている医療従事者の方の写真や、それぞれの専門職の仕事内容から、生徒たちは**身近な小出病院にこんなにも多種多様な医療のスペシャリストたちが働いていらっしゃる**ということを実感していました。また**それぞれの医療の専門職が連携、協力しあって一人の患者さんの Life を支えている**ということをわかりやすくお話していただきました。

また、**「医療従事者に向いている資質」**についても触れていただきました。将来医療の道に進みたいと考えている生徒だけでなく、今まで医療分野の進路を考えたことがなかった生徒も、興味を抱くきっかけになったようです。１年生にとって初めてとなる「医療講演会」でした。将来、医療現場で人の役に立ちたいと考えている生徒や、なりたい医療職が決まっている生徒は、ぜひ今後も医療専攻で学習を深めていってほしいと思います。

生徒の質問

・たくさんの人の健康を支えるのが医療の役割だということですが、私たち自身が健康に生活するためには、どのようなことに気をつけたら良いですか。

―健康に生活するためには、健康な生活習慣を身につけてください。健康な生活習慣とは、まず食事、運動、そしてタバコを吸わないこと。タバコの害についてもそうですが、正しい情報を知り、正しい情報を活用することも、生活習慣を良くするためには大切です。

・医療の仕事に携わって、やりがいを感じる瞬間はどのような瞬間ですか。

―私だけでなく、医療に携わるみんながやりがいを感じる瞬間は、やはり「患者さんが元気になって退院する瞬間」です。また、

地域の中で、病院の枠を超えて色々な人と仕事をするようになり、「この地域にあなたがいてくれて助かった」と言われたり、地域の人に認められたりする実感が湧くとき、とても嬉しい気持ちになります。

・医療に携わるスタッフさんは、どういったことに気をつけて患者さんとどのようなコミュニケーションをとっているのですか。

―医療の専門職の中で、特に患者さんとたくさんの会話をするのは、リハビリテーションを行う方々です。リハビリテーションは、数十分、患者さんのそばにいながら、会話をし、寄り添いサポートをします。また、皆さんがイメージした看護師さんは、患者さんの思いを聞き取る専門職でもあります。どの専門職だとしても、接する患者さんは人生の先輩であることが多いです。「こちらの知っていることを教える」という態度ではなく、目の前の人に自然と寄り添うスタンスが大切です

生徒の感想

・私は医療系の仕事に就きたいと思っているので今日の講演はとても良い経験になりました。**同じ医療でも役割が全て異なり１つも欠けてはいけないし、全部が集まって成立していると思うと私たち人間が健康で安全な生活を送るためには医療という分野が必要不可欠である**ということも学びました。私も医療専攻を選択し将来は患者を支えていける医療従事者になりたいと思いました。

・弱い人の立場になって話すという言葉がとても印象に残りました。自分も、友達が悩んでいたら、同じ目線に立って一緒に考えたいと思いました。

・今まで僕は「医療」といったら、医師や看護師といったイメージしかなかったのですが、今回の講演を聴いて、そのほかにも様々な専門職があることを知ることができました。中でも「臨床工学技士」という職業の説明が一番印象に残っています。**最近では治療や手術に機械が用いられ、医師や患者のサポートをしている**と聞き、とても興味が湧きました。

・医療には、私たちがまだ聞いたことがない役割がたくさんあると知って、とても驚きました。患者さんを中心に優しく接し、**心温まる対応を行い、寄り添ってあげることが一番大切**だなと思いました。**命が誕生するときも医療に携わる人が頑張って仕事をしてくれて、命が終わるときも最後までそばにいてくれる。そんなところがとても素敵だなと感じました。**

・life の始まりは大変で、life の終わりも苦しいけれど、そのすべてをサポートする事が医療の仕事なんだと思いました。そして専門職がいっぱいあり、それぞれケアする事が仕事でもあるなと思いました。コロナが広がり医療現場で活躍する人は身近になっていて、**これからもずっと感謝をしていきたい**と思いました。

・医療に携わる方々のように、私も「ありがとうございました。」という言葉を大切にし、**自然と人のために行動ができる人になりたい**と思いました。